

出稼ぎから デカセギへ

ブラジル移民一〇〇年にみる人と文化のダイナミズム

ヒトは常に地理的移動を繰り返してきた。

それを促したのは、経済・政治・環境等の変化である。

一九〇八年に始まるブラジル移民から二〇〇〇年。

ブラジルは、日本移民を七〇年の長期にわたり

制度的に受け入れてきた唯一の国である。

本書は、この二〇〇年のブラジルと日本との

移民の社会文化史を追うことによって、

去りし者Ⅱ出移民と、来たりし者Ⅱ入移民による、

ヒトの移動によってもたらされた文化のダイナミックな変容を考察した好著！



三田千代子 著

●A5判・並製・296ページ

●定価 本体価格2,000円＋税

●2009年3月刊行

ISBN78-4-8350-6197-9

●推薦 柳田利夫 (慶應義塾大学教授)

不二出版

社会人類学的視野からのダイナミックな考察

柳田利夫 (慶應義塾大学教授)

ブラジル日本人移民研究の第一人者で、永年に亘り現地でのフィールドワークを精力的に積み重ねてきた三田千代子教授の著書、「出稼ぎ」から「デカセギ」へ―ブラジル移民一〇〇年にみる人と文化のダイナミズム」が不二出版から刊行されることになった。

日本人移民・移住研究が、日本からの移住者送出とホスト社会での日本人の変容に、また在日日系人の研究が、日本における「デカセギ」の実態や日本でのコンフリクトなどの面に、視野を限定しがちななかで、著者は、ブラジルに移住者として渡航し生活の拠点を築きつつ大きく文化変容を遂げていった日本人移民の姿を、近年の日系ブラジル人による日本「デカセギ」の動向と変容とに重ね合わせつつ、近代国民国家形成や近代世界における人の移動、というダイナミックで大きな枠組みの中でこれまでに多くの論考を著してきている。

本書では、既発表の論考に補筆したうえで、今回新たに書き下ろされたものを加え、この百年の間に日本とブラジルの間を移動(行き・来)した人々と、彼等が形成してきた社会について、空間的にも時間的にも広がりのある複雑な歴史過程が、平易で分かりやすく、説得力を持った筆致でまとめあげられているものと思う。学生諸君や若い研究者にぜひ読んでいただきたい刊行物である。

●推薦します

●目次より

- 序章 移動するヒト・変容する文化
- 1 ヒトの移動と文化のダイナミズム
 - 2 近代のヒトの移動
 - 3 グローバル化時代のヒトの移動と日本

I ブラジルの日本人―去りし者

- 1 近代日本の海外移民政策
 - 2 明治維新政府と「元年者」の失敗
 - 3 官約移民と日本社会
 - 4 移民業務の民営化による私約移民の送出
 - 5 メキシコにおける日本人植民地建設の試み
- 近代日本における海外移民の役割
- 1 ブラジルの移民政策と日本移民
 - 2 ヨーロッパ移民の代替としての日本移民
 - 3 国づくりの理念「白人化」と日本移民の導入
 - 4 日本移民の制限の始まり
 - 5 ナシヨナリズムと移民政策
 - 6 レイス「排日法案」の提出
 - 7 ボテリョ報告書
- 1 サンパウロ日本人共同体と経済活動
 - 2 「一九二〇年代―一九五〇年代
 - 3 日本人移住地の集団形態と農業形態
 - 4 コチアの日本人共同体
 - 5 バストス移住
- 1 「国民国家」から「多人種多民族国家」へ
 - 2 「国民国家」の形成と外国移民
 - 3 第二次世界大戦と日本移民
 - 4 「多人種多民族国家」へ

II 日本のブラジル人―来たりし者

- 1 デカセギ現象をめぐる日本とブラジルの新たな関係
 - 2 「ブラジルの奇跡」の後
 - 3 日本の高度経済成長
- 1 「デカセギ」元年期の日系人就労者
 - 2 在日日系ブラジル人の社会・文化生活
 - 3 神奈川県綾瀬市を中心に
 - 4 アンケートにみる日系ブラジル人の姿
 - 5 デカセギ・ブラジル人と日本社会
 - 6 彷徨うデカセギ・ブラジル人
 - 7 ポルトガル語となった「デカセギ」ブラジル人の分布
 - 8 多様な生活戦略
 - 9 グローバル化時代の教育とは
 - 10 ナシヨナリズムとエスニシティ・グローバリゼーションとエスニシティ―「デカセギ」送出地バストス市の事例
 - 11 「日本人村」としてのバストス市の概略
 - 12 「日本人村」の経済活動と社会組織
 - 13 ナシヨナリズム下の「日本人村」
 - 14 第二次世界大戦と養蚕業
 - 15 「日本人村」の再出発
 - 16 「ジャポネス」・エスニシティ
 - 17 デカセギとバストス
 - 18 ブラジルの日本人、日本のブラジル人―移動と定住の社会的考察
 - 19 日本のブラジル人
 - 20 日本とブラジル
 - 21 日本とブラジル
 - 22 日本とブラジル
 - 23 日本とブラジル
 - 24 日本とブラジル
 - 25 日本とブラジル
 - 26 日本とブラジル
 - 27 日本とブラジル
 - 28 日本とブラジル
 - 29 日本とブラジル
 - 30 日本とブラジル
 - 31 日本とブラジル
 - 32 日本とブラジル
 - 33 日本とブラジル
 - 34 日本とブラジル
 - 35 日本とブラジル
 - 36 日本とブラジル
 - 37 日本とブラジル
 - 38 日本とブラジル
 - 39 日本とブラジル
 - 40 日本とブラジル
 - 41 日本とブラジル
 - 42 日本とブラジル
 - 43 日本とブラジル
 - 44 日本とブラジル
 - 45 日本とブラジル
 - 46 日本とブラジル
 - 47 日本とブラジル
 - 48 日本とブラジル
 - 49 日本とブラジル
 - 50 日本とブラジル
 - 51 日本とブラジル
 - 52 日本とブラジル
 - 53 日本とブラジル
 - 54 日本とブラジル
 - 55 日本とブラジル
 - 56 日本とブラジル
 - 57 日本とブラジル
 - 58 日本とブラジル
 - 59 日本とブラジル
 - 60 日本とブラジル
 - 61 日本とブラジル
 - 62 日本とブラジル
 - 63 日本とブラジル
 - 64 日本とブラジル
 - 65 日本とブラジル
 - 66 日本とブラジル
 - 67 日本とブラジル
 - 68 日本とブラジル
 - 69 日本とブラジル
 - 70 日本とブラジル
 - 71 日本とブラジル
 - 72 日本とブラジル
 - 73 日本とブラジル
 - 74 日本とブラジル
 - 75 日本とブラジル
 - 76 日本とブラジル
 - 77 日本とブラジル
 - 78 日本とブラジル
 - 79 日本とブラジル
 - 80 日本とブラジル
 - 81 日本とブラジル
 - 82 日本とブラジル
 - 83 日本とブラジル
 - 84 日本とブラジル
 - 85 日本とブラジル
 - 86 日本とブラジル
 - 87 日本とブラジル
 - 88 日本とブラジル
 - 89 日本とブラジル
 - 90 日本とブラジル
 - 91 日本とブラジル
 - 92 日本とブラジル
 - 93 日本とブラジル
 - 94 日本とブラジル
 - 95 日本とブラジル
 - 96 日本とブラジル
 - 97 日本とブラジル
 - 98 日本とブラジル
 - 99 日本とブラジル
 - 100 日本とブラジル

表1 上位10県のブラジル人口 (1988-2003年)

	1988	1992	1994	1995	1996	1997	1999	2000	2001	2002	2003
神奈川県	682 16.4%	14698 9.9%	13434 8.4%	13958 7.9%	14386 7.1%	15434 6.6%	12184 4.8%	12295 4.8%	13650 5.2%	13794 5.2%	13837 5.0%
埼玉県	320 7.7%	9617 6.5%	10160 6.4%	10804 6.1%	11500 5.7%	12226 5.2%	11202 5.0%	12831 5.1%	14088 5.3%	13768 5.1%	13932 5.1%
静岡県	359 8.6%	19803 13.4%	22571 14.1%	25012 14.2%	28305 14.0%	32202 13.8%	31974 14.3%	35959 14.1%	39409 14.8%	41039 15.3%	41489 15.1%
群馬県	243 5.8%	8773 5.9%	8941 5.6%	10365 5.8%	11501 5.7%	13933 5.7%	13317 5.9%	15325 6.0%	16239 6.1%	15636 5.8%	15756 5.7%
愛知県	248 6.0%	29607 20.0%	27545 17.3%	29787 16.9%	36392 18.0%	42917 18.4%	41241 18.7%	47561 19.4%	51546 19.4%	54081 20.2%	57336 20.9%
茨城県	5107 3.5%	5994 3.8%	7036 4.0%	7784 3.9%	9216 4.0%	9454 4.2%	10803 4.3%	10974 4.1%	10550 4.1%	10940 4.0%	10940 4.0%
長野県	3774 2.6%	6579 4.1%	9633 5.5%	11197 5.5%	14676 6.3%	16357 7.3%	19445 7.9%	18730 6.7%	17537 6.5%	17898 6.5%	17898 6.5%
岐阜県	5988 4.1%	7096 4.4%	8073 4.6%	9829 4.9%	11818 5.1%	11619 5.2%	14809 5.8%	14925 5.6%	15138 5.7%	16449 6.0%	16449 6.0%
三重県	5464 3.7%	6224 3.9%	7086 4.0%	9776 4.8%	12433 5.3%	13453 5.3%	15358 6.0%	16737 6.3%	17012 6.3%	17619 6.4%	17619 6.4%
滋賀県	4298 2.9%	5199 3.3%	6054 3.4%	7004 3.5%	8407 3.6%	8841 3.9%	10125 4.0%	10182 3.8%	10794 4.0%	10995 4.0%	10995 4.0%
上位10県	107139 72.5%	113743 71.3%	127748 72.4%	147674 73.1%	173262 74.3%	169642 75.6%	195011 76.7%	205580 77.3%	209749 78.2%	216251 78.7%	216251 78.7%
全国	4159 100.0%	147803 100.0%	159619 100.0%	176440 100.0%	201795 100.0%	233254 100.0%	224299 100.0%	254394 100.0%	265062 100.0%	268332 100.0%	274700 100.0%

出所: 「在留外国人統計」(財団法人入管協会, 1985~2004年) から作成。

県、三重県、埼玉県、群馬県、岐阜県、群馬県、滋賀県、茨城県の一〇県で、在日ブラジル人総数の七七八割を占めてきた(表1参照)。群馬県の太田市として有名であるが、ブラジル人の絶対数は一万人を超える程度である。しかし、非ブラジル人の比較で、ブラジル人口の占める割合が高いことと、その結果であるが、行政も含めブラジル人住民にラが整っており、ブラジル人が居住したい町であるという調査報告もある。事実、ブラジル人を顧客としたエスニック・ビジネスは目白押しとい

●本書より

著者紹介

三田千代子 (みた・ちよこ)

現在、上智大学外国語学部教授
サンパウロ大学大学院社会人類学博士。東京大学教養学部助手を経て上智大学勤務。ブラジル社会文化を非本質主義視点から捉えることに関心。ヒトの移動に伴う社会・文化の変化を、ブラジル社会を事例として、研究を展開している。ブラジル社会およびブラジルの日本人に関する論文は多数。

(近年の主な著書)

Bastos: uma comunidade etnica japonesa no Brasil (São Paulo, Humanitas/FFLCH/USP, 1999)

『ラテンアメリカの日系人―国家とエスニシティ』(共著、慶應義塾大学出版会、2002年)

『現代ブラジル事典』(監修、新評論、2005年)

『グローバル化する世界と文化の多元性』(共著、上智大学、2005年)

- あとがき
- ブラジル移民史年表
- 終章
ブラジルの日本人、日本のブラジル人―移動と定住の社会的考察
- 1 ブラジルの日本人
 - 2 日本のブラジル人

外務省通商局Ⅱ編(大正11年~昭和6年刊)
移民地事情 全10巻・別冊1

本誌は、中南米地域Ⅱブラジル・アルゼンチン・ポリ
ヴィア・メキシコ・コロンビア・チリ・パラグアイ・
ウルグアイ等についての、日本人移民地の「視察報告」
を取りまとめ、不定期で全一七冊刊行された。これ
らの各地域には、既に邦人移民が相当数定住してお
り、その地の詳細な地図と共に、彼等の生活状態を
報告した本書は、日本人移民地の実情を知る基本資
料である。

- 別冊Ⅱ解説(柳田利夫・総目次
- A5判・上製・総4、810頁
- 本体価格191、000円十税
- 99年11月~00年12月配本完結(復刻版)

日本移民協会Ⅱ発行(大正3年~大正8年刊)
日本移民協会報告 全2巻

一九一四年一月に大隈重信を会頭として「日本移民協
会」が設立された。本誌は同会の機関誌として、北
米における日本移民の労働や就労状況調査、東南ア
ジア・南米への移民の有望性・将来性、南洋諸島の
移民地としての価値など、移民に関わる幅広い論説
と情報を提供している。

- 解説(坂口満宏・総目次・索引付き
- B5判・上製・総680頁
- 本体価格36、000円十税
- 06年9月刊(復刻版)

蘭信二編・著
日本帝国をめぐる人口移動の
国際社会学

本書は、朝鮮・満洲、樺太、台湾、南洋を舞台として、
複雑に展開された(人口移動)の諸相を、国際社会学
的の視角から総体として捉えようとしたものである。

- A5判・上製・898頁
- 本体価格8、000円十税
- 08年6月刊

外務省通商局Ⅱ編(明治40年~昭和15年刊)
海外各地在留本邦人
職業別人口表 全5巻・附録1

本資料は世界各地に居住する日本人についてその男
女性別、職業別(後に本業者、家族別)を一覧表にまと
め、何度かその形式やタイトルを変えながらも、明
治四〇年以降年一回、明治期以降の海外において
刊行された調査である。明治期以降の海外における
日本人の活動の実態を把握するための第一級資料。
移民研究、歴史地理研究等の基本文献。

- 解説(柳田利夫)付き
- B4判・B5判・上製・総1、800頁
- 本体価格95、000円十税
- 02年11月刊(編集復刻版)

外務省通商局Ⅱ編(明治36年~昭和14年)
海外日本実業者の調査 全8巻

外務省は日露戦争直前の一九〇三年一〇月、海外各
地に在留する日本人実業者の調査を初めて実施し、
その結果を「海外日本実業者ノ調査」として刊行した。
海外における日本人商工業者について、この調査に
匹敵する網羅的調査報告はなく、明治期後半から昭
和戦前期における日本人の殖民・移民の経済活動の
全貌と日本企業の海外展望が掌握できる。

- 解説(高嶋雅明)付き
- A4判・上製・総2、498頁
- 本体価格224、000円十税
- 06年11月~07年6月配本完結(復刻版)

修岩・浅野慎一監訳
中国残留日本人孤児に
関する調査と研究 上・下

本書は、関重新・張志坤著「日本遺孤調査研究」(社
会科学文献出版社、二〇〇五年刊)の全訳。政府の
檔案(個々人の詳細な人事資料)から三千八百余人を
抽出し分析、聞き取りも実施。

- A5判・上製・函入・総956頁
- 本体価格30、000円十税
- 08年12月刊

佐々木敏二著
日本人カナダ移民史

本書は、戦前、カナダへ渡った「日本人移民」の歴史
を、滋賀・和歌山両県を中心として、出移民と移住
地での定住過程を結びつけ、体系化した、著者の永
年の実証的研究成果が結実した労作。

- A5判・上製・340頁
- 本体価格6、000円十税
- 99年8月刊

龍谷大学社会科学研究所叢書 第45巻
戸上宗賢Ⅱ編・著
交錯する国家・民族・宗教
—移民の社会適応—

グローバル化した二〇世紀の移民・移住現象を国家、
民族、宗教そして教育などの側面から考察した共同
研究書。執筆Ⅱ戸上宗賢・李洙任・糸井輝子・木村
健二・横山勝英・島田法子・飯野正子・小島 勝

- A5判・上製・288頁
- 本体価格4、600円十税
- 01年5月刊

坂口満宏Ⅱ著
日本人アメリカ移民史

二〇世紀前半、日米開戦に伴う日系人の強制収容直
前までのアメリカ合衆国西北部に形成された日本人
移民社会の展開と消滅の過程を歴史の流れのなかで
多角的に考察した書。

- A5判・上製・340頁
- 本体価格6、500円十税
- 01年11月刊

立命館大学日系文化研究会Ⅱ編
戦後日系カナダ人の社会と文化

多文化主義社会カナダの戦後日系人の抱えた政治
的・文化的問題を、組織・祭り・言語・文学・メデ
イア等を通して多角的に追及。執筆Ⅱ坂口満宏・佐々
木敏二・和泉真澄・篠田左多江・彦坂佳宣・山本岩
夫・松原美恵・野崎京子。

- A5判・上製・238頁
- 本体価格3、500円十税
- 03年7月刊

●表示価格はすべて税別。

不二出版

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話03-3812-4433
フアックス03-3812-4464
振替0016002940884